

令和 2 年 度

伊達市公営企業会計決算審査意見書

水道事業会計
下水道事業会計

伊達市監査委員

3 伊 監 査 第 38 号
令和 3 年 8 月 19 日

伊達市長 須田 博行 様

伊達市監査委員 柳沼 仁克

伊達市監査委員 佐藤 直毅

令和 2 年度伊達市公営企業会計決算審査意見書の提出について

地方公営企業法第 30 条第 2 項の規定により、審査に付された令和 2 年度伊達市水道事業会計及び伊達市下水道事業会計の決算について審査をしたので、その結果について意見を次のとおり提出します。

令和2年度伊達市公営企業会計決算審査意見書

目 次

第1	審査の対象	1
第2	審査の期間	1
第3	審査の方法	1
第4	審査の結果	1

【水道事業会計】

1	業務概要	2
2	予算執行状況	3
(1)	収益的収支	3
(2)	資本的収支	4
3	経営成績	5
(1)	営業損益	6
(2)	営業外損益	6
(3)	特別損益 ・ 最終損益	6
(4)	供給単価と給水原価	6
4	財政状況	7
(1)	資 産	8
(2)	負債及び資本	8
5	企業債	9
6	建設改良事業等	9
7	水道料金収納状況	10
(1)	水道料金収納率(現年度)	10
(2)	過年度未収金	10
(3)	コンビニエンスストアにおける収納状況	11
8	意 見	12

【下水道事業会計】

1	業務概要	13
2	予算執行状況	14
(1)	収益的収支	14
(2)	資本的収支	15
3	経営成績	16
(1)	営業損益	17
(2)	営業外損益	17
(3)	特別損益・最終損益	17
(4)	処理単価と処理原価	17
4	財政状況	18
(1)	資産	19
(2)	負債及び資本	19
5	企業債	20
6	建設改良事業等	20
7	下水道料金収納状況	21
(1)	下水道料金収納率(現年度)	21
(2)	過年度未収金	21
8	受贈財産等	22
(1)	寄附採納管渠	22
(2)	寄附採納公共柵	22
9	意見	23

注 記

表中の数値は、単位未満端数調整(合計を一致させるため)のため、当該意見書の他の箇所の整合すべき数値と必ずしも一致しない場合があります。

第1 審査の対象

令和2年度伊達市水道事業会計決算

令和2年度伊達市下水道事業会計決算

第2 審査の期間

令和3年6月25日から令和3年7月27日

第3 審査の方法

令和2年度における伊達市水道事業会計及び令和2年度から公営企業会計に移行した下水道事業会計の運営状況と会計記録の正確性及び妥当性を確認し、これを基礎とする決算書類(決算報告書、損益計算書、剰余金計算書、剰余金処分計算書、貸借対照表)及び決算附属書類(事業報告書、キャッシュ・フロー計算書、収益費用明細書、資本的収入及び支出明細書、固定資産明細書、企業債明細書)が関係法令に基づいて作成されているか、また、企業の財政状態及び令和2年度の経営成績が適正に表示されているか否かを審査し、併せて本事業が、地方公営企業法第3条に規定する「企業の経済性を発揮し公共の福祉を増進する」という原則に則り運営されているかを主眼として審査を行った。

この審査に当たっては、支払証書及び現金預金は、例月出納検査のなかで確認した。

また、貯蔵品は年度末において実施されたたな卸に立会、現物の確認を行った。

第4 審査の結果

審査に付された決算書類及び決算附属書類は、地方公営企業法及び関係法令の規定に基づいて作成され、かつ、その計数は正確であり、年度末における財政状態及び本年度における経営成績を適正に表示している。また、事業はおおむね適正に運営されているものと認められた。

なお、各事業会計の決算審査の概要及び意見については、次のとおりである。

【水道事業会計】

1 業務概要

項 目		令和2年度	令和元年度	前年度比較	
				増 減	増減率 (%)
給水戸数 (戸)		20,920	20,700	220	1.1
給水区域内人口 (人)		57,764	58,468	△ 704	△ 1.2
給水人口 (人)		54,096	54,628	△ 532	△ 1.0
普及率 (%)		93.65	93.43	0.22	—
配水量(m ³)	年 間	5,955,207	6,015,696	△ 60,489	△ 1.0
	1日平均	16,271	16,436	△ 165	△ 1.0
有収水量(m ³)	年 間	5,239,310	5,222,703	16,607	0.3
	1日平均	14,354	14,270	84	0.6
有収率 (%)		88.22	86.82	1.40	—

令和2年度末における給水戸数は、前年度に比べ220戸増加したが、給水人口は前年度に比べ532人の減となっている。

年間総配水量は前年度に比べ60,489m³(1.0%)減少したが、年間有収水量は前年度に比べ16,607m³(0.3%)増加し、有収率は88.22%と前年度に比べ1.4%上昇している。

2 予算執行状況

(1) 収益的収支

収益的収入(税込)

(単位 : 千円)

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減 額	執行率(%)
水道事業収益	1,868,116	1,909,322	41,206	102.2
営 業 収 益	1,568,124	1,604,386	36,262	102.3
営 業 外 収 益	251,085	254,362	3,277	101.3
特 別 利 益	48,907	50,574	1,667	103.4

(注) 水道事業収益の決算額中、仮受消費税及び地方消費税は149,364千円である。

収益的収入の決算額は予算額を41,206千円上回る1,909,322千円(執行率102.2%)となっている。

収益的支出(税込)

(単位 : 千円)

科 目	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	執行率(%)
水道事業費用	1,729,408	1,673,329	0	56,079	96.8
営業費用	1,578,195	1,535,555	0	42,640	97.3
営業外費用	146,210	137,436	0	8,774	94.0
特別損失	341	338	0	3	99.1
予 備 費	4,662	0	0	4,662	0.0

(注) 水道事業費用の決算額中、仮払消費税及び地方消費税は125,519千円である。

また、水道事業費用の決算額中、消費税及び地方消費税納付額は47,912千円である。

収益的支出の決算額は1,673,329千円(執行率96.8%)となっている。

(2) 資本的収支

資本的収入(税込)

(単位 : 千円)

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減 額	執行率(%)
資本的収入	243,832	236,904	△ 6,928	97.2
企 業 債	148,100	142,800	△ 5,300	96.4
負 担 金	25,004	23,381	△ 1,623	93.5
補 助 金	17,831	17,831	0	100.0
出 資 金	52,892	52,892	0	100.0
固定資産売却収入	4	0	△ 4	0.0
その他資本収入	1	0	△ 1	0.0

資本的収入は予算額を6,928千円下回る236,904千円(執行率97.2%)となっている。

資本的支出(税込)

(単位 : 千円)

科 目	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	執行率(%)
資本的支出	747,837	734,736	0	13,101	98.2
建設改良費	294,131	281,032	0	13,099	95.5
企業債償還金	453,422	453,421	0	1	100.0
国庫補助金返還金	284	283	0	1	99.6

(注) 資本的支出の決算額中、仮払消費税及び地方消費税は23,225千円である。

資本的支出の決算額は734,736千円(執行率98.2%)となっている。

資本的収入額 (236,904千円)が資本的支出額 (734,736千円)に対し不足する額
497,832千円については、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額23,225千円、
過年度分損益勘定留保資金474,607千円を補てんしている。

3 経営成績

収益状況(税抜)

(単位 : 千円)

科 目	令和2年度	令和元年度	前年度比較	
			増 減	伸率 (%)
営 業 収 益	1,458,783	1,450,011	8,772	0.6
給水収益	1,443,456	1,433,956	9,500	0.7
その他営業収益	15,327	16,055	△ 728	△ 4.5
営 業 費 用	1,457,739	1,463,624	△ 5,885	△ 0.4
原水及び浄水費	588,279	590,578	△ 2,299	△ 0.4
配水及び給水費	135,190	156,490	△ 21,300	△ 13.6
総 係 費	142,053	116,553	25,500	21.9
減 価 償 却 費	587,823	599,019	△ 11,196	△ 1.9
資 産 減 耗 費	4,394	984	3,410	346.5
営 業 利 益	1,044	△ 13,613	14,657	△ 107.7
営 業 外 収 益	250,601	267,565	△ 16,964	△ 6.3
受取利息及び配当金	60	54	6	11.1
補 助 金	64,468	73,446	△ 8,978	△ 12.2
加 入 金	33,680	38,480	△ 4,800	△ 12.5
雑 収 益	4,457	4,706	△ 249	△ 5.3
消費税及び地方消費税還付金	0	0	0	0.0
長期前受金戻入	147,936	150,879	△ 2,943	△ 2.0
営 業 外 費 用	89,763	100,433	△ 10,670	△ 10.6
支払利息及び企業債取扱諸費	89,127	100,146	△ 11,019	△ 11.0
雑支出	636	287	349	121.6
経 常 利 益	161,882	153,519	8,363	5.4
特 別 利 益	50,574	0	50,574	皆増
特 別 損 失	308	0	308	皆増
当年度純利益	212,148	153,519	58,629	38.2
前年度繰越利益剰余金	69,787	69,787	0	0.0
その他未処分利益剰余金変動額	0	0	0	0.0
当年度未処分利益剰余金	281,935	223,306	58,629	26.3

(1) 営業損益

営業収益は、有収水量(前年度比0.3%)が増加したことにより、前年度に比べ8,772千円(0.6%)増加し、1,458,783千円となった。

営業費用では、人事異動等により人件費の減少や、配水及び給水費、減価償却費、原水及び浄水費の減少により、全体で前年度に比べ5,885千円(0.4%)減少し、1,457,739千円となった。

この結果、前年度に比べ14,657千円増益の1,044千円となった。

(2) 営業外損益

営業外収益は、前年度に比べ長期前受金戻入が2,943千円(2.0%)、加入金が4,800千円(12.5%)、雑収益が249千円(5.3%)、補助金が8,978千円(12.2%)減少となり、全体では前年度に比べ16,964千円(6.3%)減少している。

営業外費用では、支払利息及び企業債取扱諸費が11,019千円(11.0%)減少したため、前年度に比べ10,670千円(10.6%)減少している。

この結果、前年度に比べ経常利益は8,363千円(5.4%)増益の161,882千円となった。

(3) 特別損益 ・ 最終損益

特別利益は、過年度損益修正益、その他特別利益により50,574千円となった。

特別損失は過年度損益修正損308千円となり、当年度純利益は212,148千円となった。

当年度純利益に、前年度繰越利益剰余金69,787千円を加えた当年度未処分利益剰余金は281,935千円となった。

(4) 供給単価と給水原価

有収水量1m³当たりの供給単価(販売単価)は前年度より0.95円上がり 275.51円、給水原価(費用)は3.45円下がって267.13円となり、前年度に比べると4.40円収益が回復し、8.38円の収益増加となっている。これは、人事異動に伴う人件費の減少等によるものである。

(単位 : 円)

区 分	令和2年度	令和元年度	対前年度差	算 出 基 礎
供給単価	275.51	274.56	0.95	$\frac{\text{給水収益}}{\text{年間総有収水量}}$
給水原価	267.13	270.58	△ 3.45	$\frac{\text{経常費用}-(\text{受託工事費}+\text{材料及び不用品売却原価}+\text{附帯事業費})-\text{長期前受金戻入}}{\text{年間総有収水量}}$
給水損益	8.38	3.98	4.40	供給単価－給水原価

4 財政状況

(単位：千円)

科 目	令和2年度	令和元年度	前年度比較	
			増 減	伸率 (%)
固 定 資 産	14,786,169	15,045,661	△ 259,492	△ 1.7
有形固定資産	14,786,169	15,045,661	△ 259,492	△ 1.7
無形固定資産	0	0	0	0.0
流 動 資 産	1,308,138	1,160,353	147,785	12.7
現金預金	1,268,099	1,109,820	158,279	14.3
未収金	46,106	57,572	△ 11,466	△ 19.9
貸倒引当金	△ 6,514	△ 7,621	1,107	△ 14.5
貯蔵品	447	582	△ 135	△ 23.2
その他流動資産	0	0	0	0.0
資産合計	16,094,307	16,206,014	△ 111,707	△ 0.7
固 定 負 債	3,990,891	4,332,937	△ 342,046	△ 7.9
企業債	3,840,808	4,133,949	△ 293,141	△ 7.1
退職給付引当金	150,083	198,988	△ 48,905	△ 24.6
流 動 負 債	583,958	587,754	△ 3,796	△ 0.6
企業債	435,941	453,422	△ 17,481	△ 3.9
未払金	89,456	94,867	△ 5,411	△ 5.7
預り金	48,613	27,854	20,759	74.5
賞与等引当金	9,948	11,611	△ 1,663	△ 14.3
繰 延 収 益	4,190,992	4,221,897	△ 30,905	△ 0.7
長期前受金	7,104,743	6,988,582	116,161	1.7
長期前受金収益化累計額	△ 2,913,751	△ 2,766,685	△ 147,066	5.3
負債合計	8,765,841	9,142,588	△ 376,747	△ 4.1
資 本 金	5,779,830	5,573,419	206,411	3.7
自己資本金	5,779,830	5,573,419	206,411	3.7
借入資本金	0	0	0	0.0
剰 余 金	1,548,636	1,490,007	58,629	3.9
資本剰余金	884,745	884,745	0	0.0
利益剰余金	663,891	605,262	58,629	9.7
資本合計	7,328,466	7,063,426	265,040	3.8
負債・資本合計	16,094,307	16,206,014	△ 111,707	△ 0.7

(1) 資 産

資産勘定は前年度に比べ111,707千円(0.7%)減少し16,094,307千円を計上している。

有形固定資産で259,492千円減少しているが、これは、構築物、機械及び装置について、減価償却累計額が増加したためである。

また、流動資産は前年度に比べ147,785千円(12.7%)増加している。これは主に、現金預金が158,279千円(14.3%)増加したことによるものである。

(2) 負債及び資本

負債勘定は前年度に比べ376,747千円(4.1%)減少し8,765,841千円を計上している。

主なものは、固定負債で企業債3,840,808千円、流動負債で翌年度返済すべき企業債435,941千円、繰延収益4,190,992千円を計上したためである。

資本勘定は7,328,466千円で、前年度に比べ265,040千円(3.8%)増加している。

これは、一般会計からの出資金52,892千円と前年度の純利益153,519千円を資本金へ計上したことにより増となったためである。

5 企業債

(単位 : 千円)

借 入 先	前年度末残高	本年度借入高	本年度償還高	本年度末残高
財務省財政融資資金	3,125,051	142,800	246,786	3,021,065
地方公共団体金融機構	1,378,426	0	151,054	1,227,372
市 中 銀 行	83,894	0	55,582	28,312
合 計	4,587,371	142,800	453,422	4,276,749

企業債は、本年度は1件142,800千円借入している。償還額は453,422千円で、残高は前年度に比べ310,622千円減少している。

本年度の企業債は「財務省財政融資資金」からの借入で、借入条件が期間30年、利率0.5%である。

6 建設改良事業等

(単位 : 千円)

区 分	工 事 名	件数	金 額
石綿セメント管更新事業	保原地域石綿セメント管更新事業 市道下河原2号線外2路線配水管布設替工事 東台後地区(1工区)配水管布設替工事 東台後地区(2工区)配水管布設替工事	3	115,357
管網整備事業	西町水管橋補修工事 霊山町石田地区配水管布設工事 堀ノ内橋配水管添架工事及び川原地内配水管布設替工事	3	33,825
国県道改良関連事業	伝樋橋改良に伴う配水管布設替工事 梁川町中央線配水管布設替工事	2	27,951
公共下水道関連	下水関連京門地内配水管布設替工事	1	6,672
伊達小学校建設工事関連	伊達小学校建設工事関連配水管布設替工事	1	20,350
消火栓設置工事	霊山町山野川地内消火栓設置工事 保原町西猫川地内消火栓設置工事	2	1,771
配水池修繕工事	聖天森配水池修繕工事	1	8,701
遠隔監視システム修繕工事	足駄木ポンプ場遠隔監視システム修繕工事	1	2,970
合 計		14	217,597

本年度の建設改良事業は、石綿セメント管更新事業3件、管網整備事業3件、国県道改良関連事業2件、公共下水道関連1件、伊達小学校建設工事関連1件、消火栓設置工事2件、配水池修繕工事1件、遠隔監視システム修繕工事1件、計14件(前年度比7件増)217,597千円(前年度比126,130千円増)の工事を実施している。

7 水道料金収納状況

(1) 水道料金収納率(現年度)

(単位 : 千円)

区 分	令和2年度	令和元年度	比 較
調 定 額	1,588,481	1,572,172	16,309
収 入 額	1,567,726	1,542,909	24,817
未 収 額	20,755	29,263	△ 8,508
収納率(%) (現年度)	98.69	98.14	0.55
(参考 : 現年度+過年度)	98.08	97.38	0.70

現年度調定額は前年度を16,309千円上回り、収納率は98.69%と前年度より0.55ポイント上回っている。

(2) 過年度未収金

(単位 : 千円)

区 分	過年度・計	元年度	30年度	29年度	28年度	27年度以前
水道使用料 未収金	10,596	2,209	1,305	1,345	1,655	4,082
手数料未収 金	0	0	0	0	0	0
未収加入金	0	0	0	0	0	0
合 計	10,596	2,209	1,305	1,345	1,655	4,082

水道料金等の過年度未収金は前年度に比べ2,485千円減少し、10,596千円となっている。

破産、居所不明等に係る未収金に対し不納欠損処分を実施(17件389千円)した。

毎月、1か月以上未納のある使用者に対し納付催告を行うとともに、納付しない者に対しては一時的に給水を停止し納付を促し、回収に努めている。

引き続き未収金の回収・整理の努力が必要である。

(3) コンビニエンスストアにおける収納状況

	令和2年度		令和元年度	
	件 数	金 額（千円）	件 数	金 額（千円）
納付書発行	56,956	383,601	58,159	409,438
内 コンビニ収納	26,409	139,030	25,558	131,397
コンビニ収納率	46.4%	36.2%	43.9%	32.1%

- ① 平成22年1月に開始したコンビニエンスストアにおける収納取り扱いは順調な伸びを示し、令和2年度は納付書発行件数の46.4%、金額にして36.2%に及んでいる。コンビニエンスストアにおける収納率は前年度に比べ件数で2.5ポイント、金額で4.1ポイント上回っている。
- ② 一方、口座振替依頼件数は233,575件で前年度に比べ462件減少しているが、振替率は依頼件数の96.5%と前年度に比べ0.8ポイント上回っている。令和2年度も、振替納付を積極的に推進するべく啓発を行った。口座振替は最も効率的で低コストであり、納付者にとっても安全で確実に納付できる方法である。
- 引き続き口座振替の推進に取り組んでいく必要がある。

8 意 見

令和2年度末の給水戸数は前年度を220戸上回り20,920戸となったが、給水人口は54,096人で532人の減となった。

年間総配水量は前年度に比べ60,489 m^3 (1.0%)減少したが、年間有収水量は16,607 m^3 (0.3%)増加し、有収率は1.40%上昇の88.22%となった。

経営成績を前年度と比較してみると、営業収益は有収水量の増加により、前年度に比べ8,772千円(0.6%)増となった。営業費用は人事異動等による人件費の減少や配水及び給水費、減価償却費、原水及び浄水費の減少により、営業費用全体で5,885千円(0.4%)減となり、前年度に比べ14,657千円の増益となった。

営業外収益は、長期前受金戻入2,943千円(2.0%)、加入金4,800千円(12.5%)、雑収益249千円(5.3%)、補助金8,978千円(12.2%)が減少となり、前年度に比べ16,964千円(6.3%)の減少となった。営業外費用89,763千円を差し引いた利益は160,838千円となり、営業利益額1,044千円を加えた結果161,882千円の経常利益となっている。

さらに、特別利益として50,574千円、特別損失として308千円を計上した結果、当年度は212,148千円の純利益となった。これに前年度繰越利益剰余金69,787千円を加えた当年度末処分利益剰余金は281,935千円となった。しかし、資本的収支は建設改良事業や企業債償還のため497,832千円の支出超過となっており、内部留保資金等により補てんしている。

また、本年度の1 m^3 当たりの供給単価は前年度より0.95円上がり275.51円、給水原価は総費用における人件費の減少等により3.45円下がって267.13円を示している。

水道料金未収額は現年度で20,755千円と前年度に比べ8,508千円の減となった。収納率は98.69%で前年度に比べ0.55ポイント上回っている。過年度未収金は10,596千円と前年度に比べ2,485千円減少したが、今後も未収金の解消が課題である。

また、水需要は人口減少などから今後も大幅な増加は見込めないことから、漏水対策等の施策強化により、有収率の向上、収益の確保に取り組んでいただきたい。

終わりに、今後も利用者の視点から水道事業を見つめ、更なる効率的な事業執行と業務体制の確立に取り組むことを強く望むとともに、引き続き市民への安全・安心な水の提供とライフラインの確保に努めていただきたい。

【下水道事業会計】

はじめに

下水道事業について、市民の生活環境の向上を図るとともに、事業の透明性の向上、経営の健全化及び効率的で安定的な事業経営を行うことを目的に、令和2年4月1日から公営企業法の財務規定等を適用されている。

1 業務概要

項 目		令和2年度
水洗化戸数（戸）		6,410
汚水処理区域内人口（人）		22,135
水洗化人口（人）		16,208
普及率（％）		73.22
有収水量（m ³ ）	年 間	1,581,805
	1日平均	4,334

2 予算執行状況

(1) 収益的収支

収益的収入(税込)

(単位 : 千円)

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減 額	執行率(%)
下水道事業収益	818,678	905,443	86,765	110.6
営 業 収 益	520,011	539,026	19,015	103.7
営 業 外 収 益	287,921	351,786	63,865	122.2
特 別 利 益	10,746	14,631	3,885	136.2

(注) 下水道事業収益の決算額中、仮受消費税及び地方消費税は40,039千円である。

収益的収入の決算額は予算額を86,765千円上回る905,443千円(執行率110.6%)となっている。

収益的支出(税込)

(単位 : 千円)

科 目	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	執行率(%)
下水道事業費用	817,923	770,932	0	46,991	94.3
営業費用	580,293	573,586	0	6,707	98.8
営業外費用	126,442	100,307	0	26,135	79.3
特別損失	110,188	97,039	0	13,149	88.1
予 備 費	1,000	0	0	1,000	0.0

(注) 下水道事業費用の決算額中、仮払消費税及び地方消費税は15,645千円である。

収益的支出の決算額は770,932千円(執行率94.3%)となっている。

(2) 資本的収支

資本的収入(税込)

(単位 : 千円)

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減 額	執行率(%)
資本的収入	797,801	733,011	△ 64,790	91.9
企 業 債	698,300	638,100	△ 60,200	91.4
補 助 金	48,267	44,937	△ 3,330	93.1
負 担 金	51,234	49,974	△ 1,260	97.5

資本的収入は予算額を64,790千円下回る733,011千円(執行率91.9%)となっている。

資本的支出(税込)

(単位 : 千円)

科 目	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	執行率(%)
資本的支出	1,039,666	979,009	0	60,657	94.2
建設改良費	418,068	357,418	0	60,650	85.5
企業債償還金	621,273	621,266	0	7	100.0
その他資本的支出	325	325	0	0	100.0

(注) 資本的支出の決算額中、仮払消費税及び地方消費税は30,309千円である。

資本的支出の決算額は979,009千円(執行率94.2%)である。

資本的収入額733,011千円が資本的支出額979,009千円に対し不足する額245,998千円については、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額24,394千円、引継金20,843千円、引継未収金3,861千円、当年度分損益勘定留保資金196,900千円を補てんしている。

3 経営成績

収益状況(税抜)

(単位 : 千円)

科 目	令和2年度
営 業 収 益	510,840
公共下水道使用料	281,849
他会計負担金	225,556
受託工事収益	3,179
その他営業収益	256
営 業 費 用	557,166
管 渠 費	35,862
受 託 事 業 費	2,890
総 係 費	61,558
流域下水道管理費	101,192
減 価 償 却 費	355,664
資 産 減 耗 費	0
その他営業費用	0
営 業 利 益	△ 46,326
営 業 外 収 益	339,933
受取利息及び配当金	1
他会計補助金	131,212
国 庫 補 助 金	0
消費税及び地方消費税還付金	0
長期前受金戻入	185,043
雑 収 益	23,677
営 業 外 費 用	101,082
支払利息及び企業債取扱諸費	100,307
消費税及び地方消費税	0
雑 支 出	775
経 常 利 益	192,525
特 別 利 益	14,630
特 別 損 失	97,038
当年度純利益	110,117
前年度繰越利益剰余金	0
その他未処分利益剰余金変動額	0
当年度未処分利益剰余金	110,117

(1) 営業損益

営業収益は、510,840千円となった。

主なものは公共下水道使用料281,849千円(有収水量1,581,805m³)、他会計負担金225,556千円等であった。

営業費用は、557,166千円となった。

営業費用では、減価償却費355,664千円、管渠費35,862千円、総係費61,558千円等であった。

この結果、経常利益は46,326千円の赤字となった。

(2) 営業外損益

営業外収益は、339,933千円となった。

他会計補助金131,212千円、長期前受金戻入185,043千円、雑収益23,677千円等であった。

営業外費用は、101,082千円となった。

支払利息及び企業債取扱諸費が100,307千円、雑支出775千円であった。

この結果、経常利益は192,525千円となった。

(3) 特別損益 ・ 最終損益

特別利益は、その他特別利益により14,630千円となった。

特別損失は、過年度損益修正損13千円、その他特別損失97,025千円となり、当年度純利益は110,117千円となった。

この結果、当年度末処分利益剰余金も110,117千円となった。

(4) 処理単価と処理原価

有収水量1m³当たりの処理単価178.18円、処理原価(費用)は379.78円である。

(単位 : 円)

区 分	令和2年度	算 出 基 礎
処理単価	178.18	$\frac{\text{使用料}}{\text{年間総有収水量}}$
処理原価	379.78	$\frac{\text{経常費用}-(\text{受託工事費}+\text{材料及び不用品売却原価}+\text{附帯事業費})-\text{長期前受金戻入}}{\text{年間総有収水量}}$
処理損益	△ 201.60	処理単価－処理原価

4 財政状況

(単位 : 千円)

科 目	令和2年度
固 定 資 産	13,149,341
有形固定資産	11,702,384
無形固定資産	1,443,069
投資その他資産	3,888
流 動 資 産	244,038
現金預金	155,670
未収金	91,628
貸倒引当金	△ 3,260
貯蔵品	0
その他流動資産	0
資産合計	13,393,379
固 定 負 債	6,526,595
企業債	6,458,264
退職給付引当金	68,331
流 動 負 債	693,561
企業債	635,227
未払金	51,443
賞与引当金	4,938
法定福利費引当金	953
預り金	1,000
繰 延 収 益	6,004,388
長期前受金	6,189,361
長期前受金収益化累計額	△ 184,973
負債合計	13,224,544
資 本 金	58,719
自己資本金	58,719
出資金	0
剰 余 金	110,116
資本剰余金	0
利益剰余金	110,116
資本合計	168,835
負債 ・ 資本合計	13,393,379

(1) 資 産

資産勘定は13,393,379千円を計上している。

有形固定資産は11,702,384千円、無形固定資産は1,443,069千円、投資その他資産は3,888千円である。

また、流動資産は244,038千円である。

(2) 負債及び資本

負債勘定は13,224,544千円を計上している。

主なものは、固定負債で企業債6,458,264千円、流動負債で翌年度返済すべき企業債635,227千円、繰延収益6,004,388千円である。

資本勘定は168,835千円を計上している。

これは、自己資本金58,719千円、当年度未処分利益剰余金110,116千円である。

5 企業債

(単位 : 千円)

借 入 先	前年度末残高	本年度借入高	本年度償還高	本年度末残高
財務省財政融資資金	2,672,389	197,000	210,062	2,659,327
地方公共団体金融機構	2,342,779	72,900	150,217	2,265,462
市 中 銀 行	2,051,910	368,200	256,327	2,163,783
福島県下水道公社	9,580	0	4,660	4,920
合 計	7,076,658	638,100	621,266	7,093,492

企業債は、本年度は9件638,100千円借入している。償還額は621,266千円で、残高は前年度に比べ16,834千円増加している。

本年度の企業債の借入先及び借入条件は、「財務省財政融資資金」からの借入れが、期間25年、利率0.4%で、「地方公共団体金融機構」からの借入れが、期間30年、利率0.5%で、「市中銀行」からの借入れが、期間10年または20年、利率0.175%である。

6 建設改良事業等

(単位 : 千円)

区 分	工 事 名	件数	金 額
管渠布設工事	公共下水道第1回管渠布設工事 (保原町上保原字大地内地内)	1	18,667
	公共下水道第2回管渠布設工事 (保原町字京門地内)	1	79,421
	公共下水道管渠布設工事 (梁川町字大町二丁目地内)	1	715
公共柵設置工事	公共柵設置工事 (梁川町字右城町地内)	1	902
	公共柵設置工事 (伊達市根田地内)	1	792
合 計		5	100,497

本年度の建設改良事業は、管渠布設工事3件、公共柵設置工事2件、計5件100,497千円の工事を実施している。

7 下水道料金収納状況

(1) 下水道料金収納率(現年度)

(単位 : 千円)

区 分	令和2年度
調 定 額	310,034
収 入 額	258,037
未 収 額	51,997
収納率(%) (現年度)	83.23
(参考 : 現年度+過年度)	84.11

現年度調定額は310,034千円、収納率は83.23%である。

(2) 過年度未収金

(単位 : 千円)

区 分	過年度・計	元年度	30年度	29年度	28年度	27年度以前
未収下水道 使用料	3,119	769	417	422	616	895
その他営業 未収金	0	0	0	0	0	0
その他未収 金	0	0	0	0	0	0
合 計	3,119	769	417	422	616	895

下水道料金等の過年度未収金は、3,119千円となっている。

破産、居所不明等に係る未収金に対し不納欠損処分を実施(5件43千円)した。

毎月、1か月以上未納のある使用者に対し納付催告を行い、回収に努めている。

引き続き未収金の回収・整理の努力が必要である。

8 受贈財産等

(1) 寄附採納管渠

種類名	部門名	耐用年数 (年)	数量(m)	取得価格(千円)	償却対象額(千円)
下水道管渠	汚 水	50	2,972.07	143,591	143,591
下水道管渠	汚 水	50	135.70	1,526	1,526
合 計			3,107.77	145,117	145,117

(2) 寄附採納公共樹

種類名	部門名	耐用年数 (年)	数量(基)	取得価格	償却対象額(千円)
下水道管渠	汚 水		12.00	914	914
合 計			12.00	914	914

本年度に寄附を受けた固定資産である。

9 意 見

令和2年度末の水洗化戸数は6,410戸、水洗化人口は16,208人、汚水処理区域内人口22,135人となった。水洗化普及率は73.22%、年間有収水量は1,581,805³mである。

経営成績は営業収益が、公共下水道使用料281,849千円、他会計負担金225,556千円、受託工事収益3,179千円、その他営業収益256千円である。営業費用が、管渠費35,862千円、受託事業費2,890千円、総係費61,558千円、流域下水道管理費101,192千円、減価償却費355,664千円である。

営業外収益は、他会計補助金131,212千円、長期前受金戻入185,043千円、雑収益23,677千円、受取利息及び配当金1千円となった。

営業外費用101,082千円を差し引いた利益は238,851千円となり、営業利益額46,326千円の赤字を加えた結果192,525千円の経常利益となっている。

さらに、特別利益として14,630千円、特別損失として97,038千円を計上した結果、当年度は110,117千円の純利益となった。これが当年度未処分利益剰余金である。

しかし、資本的収支は建設改良事業や企業債償還のため245,998千円の支出超過となっており、消費税及び地方消費税資本的収支調整額、留保資金、引継金、引継未収金より補てんしている。

また、本年度の1³mあたりの処理単価178.18円、処理原価は379.78円となっている。

下水道料金未収額は現年度で51,997千円、収納率は83.23%である。過年度未収金は3,119千円である。今後も未収金の解消が課題である。

本市の水洗化普及率は約73%だが、福島県平均の約81%と比較して、依然低い水準にある。整備済区域の未接続者に対して、戸別訪問等により接続率の向上に取り組んでいただきたい。

終わりに、令和2年度下水道事業会計が公営企業会計に移行して初めての決算となった。下水道事業において、企業債償還や老朽化した設備の更新に要する経費負担が大きくなることから、今後の経営を取り巻く環境は厳しいものと予想される。

今後も利用者の視点から下水道事業を見つめ、更なる効率的な事業執行と業務体制の確立に取り組むことを強く望むとともに、引き続き市民生活の向上や環境改善に努めていただきたい。